

2023年度事業計画書

NPO法人子ども支援センターつなぐ

1 事業活動方針

設立から5年目となる2023年度は、これまでと同様に子どもの権利擁護を軸として被害直後の初期段階から、被害回復し自立した生活ができるまでの中長期段階まで、ワンストップで、多機関多職種で連携しながら、事業を推進していく。

特に、法制審議会（性犯罪関係）の議論により、今後期待される法改正を見据え、「司法面接」に関する取り組み（新司法面接プロジェクト）は、昨年度に引き続き National Children's Advocacy Center の協力を得ながら、司法面接制度に関する研究、面接者の育成、プロトコル／ガイドラインの実装に向けた動きを加速させるとともに、子どもの権利擁護のために司法面接の必要性を社会的に浸透させるために必要となる実態調査「子どもの性被害に関する調査研究」を進め、結果を報告、政策提言を行えるようにする。

今年度は、当法人が「子どもの権利擁護のためのワンストップセンター」としての活動実績と今後の全国への拡大の必要性を広く伝え、当法人の事業の加速を求め「子どもの権利擁護シンポジウム2023」を開催する。

付添犬事業では、将来的に付添犬をファシリテイドッグとして常駐させることを目的に、ファンドレイジングの一環としてクラウドファンディングを実施する。

以上のように、事業を推進しながら、当法人の拡大とともに、全国に子どもの権利擁護のためのワンストップセンターを整備するために、さらなる団体の組織基盤整備、人材獲得、育成を実施する。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 被害児等の権利擁護事業

ア 専門医療者による系統的全身診察の実施事業（日本財団（預保納付金支援事業））

- ・内 容 被害児等に対し、系統的全身診察と証拠保全を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県立こども医療センター内
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 系統的全身診察を受ける被害児等
- ・支出見込額 151,000円

イ 専門知識を備えた面接官による聞き取り事業（日本財団（預保納付金支援事業））

- ・内 容 必要最低限の回数面接で、裁判の証拠としても使用可能な形で被害児等から聞き取りを行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ司法面接室
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 聞き取りを希望する被害児等、保護者など
- ・支出見込額 471,000円

ウ 被害児等の裁判準備、裁判支援、事案管理、アドボケートの実施事業

- ・内 容 法的な支援を希望する被害児等に対し、弁護士の紹介、関係機関への連絡、病院や裁判所等への同行支援などの手配や支援を行う。
- ・日 時 通年

- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 10 人
- ・受益対象者 支援を希望する被害児等、保護者など
- ・支出見込額 423,000 円

エ 付添犬派遣事業

- ・内 容 司法面接や裁判出廷、子どもの権利擁護のために面接を行う等の際、子どもの負担軽減や権利擁護等を目的とし、付添犬を派遣する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 首都圏、東海圏
- ・従事者人員 10 人
- ・受益対象者 支援を希望する被害児等、保護者など
- ・支出見込額 1,392,000 円

オ 司法面接室の運用

- ・内 容 司法面接を実施するための面接室を運用する
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県立こども医療センター、横浜市内
- ・従事者人員 4 人
- ・受益対象者 司法面接を希望する被害児等、司法面接に関わる人
- ・支出見込額 530,000 円

カ 社会的養護下の子どもの権利擁護

- ・内 容 児童相談所の委託を受け、社会的養護下の子どもの権利擁護相談に付添犬を同席させて実施する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 児童相談所等
- ・従事者人員 7 人
- ・受益対象者 社会的養護下にある児童 児童相談所等
- ・支出見込額 303,000 円

② 被害児等、その周囲の人の心身の回復に対する支援事業

ア 被害児等に対する中長期伴走サポート

- ・内 容 虐待・暴力・いじめを受けた子どもが必要とする支援を多機関多職種で連携しワンストップで支援を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 全国
- ・従事者人員 10 人
- ・受益対象者 支援を希望する被害児等、その家族や支援者等 30 組
- ・支出見込額 2,015,000 円

イ 個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者の生活や進学・就職等及び被害からの回復に必要な医療等に関わる助成

(ア) つなぐ助成事業

- ・内 容 つなぐで得た寄附金を必要な子どもに対し助成する。
- ・日 時 通年
- ・従事者人員 5 人
- ・受益対象者 つなぐで支援している被害児等
- ・支出見込額 400,000 円

(イ) 若者おうえん基金による助成事業（第4・5回若者おうえん基金助成）

- ・内 容 首都圏若者サポートネットワーク運営委員会から交付された助成金を必要な子どもに対し使用し支援を行う。
- ・日 時 通年
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 つなぐで支援している被害児等
- ・支出見込額 3,800,000円

(ウ) チームで行う食を通じた自立支援事業

キューピーみらいたまご財団助成プログラム事業

- ・内 容 キューピーみらいたまご財団から交付された助成金を必要な被害児等に対し食糧支援を行う。
- ・日 時 通年
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 つなぐで支援している被害児等
- ・支出見込額 200,000円

(はまぎん) ミライを創るアクションプログラム事業

- ・内 容 横浜銀行から交付された助成金を必要な被害児等に対し食糧支援を行う。
- ・日 時 4月から9月
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 つなぐで支援している被害児等
- ・支出見込額 330,000円

③ 専門知識をもった支援者の養成事業

ア 専門知識を備えた面接官養成のための研修事業（日本財団（預保納付金支援事業））

(ア) 虐待被害児支援・司法面接研修

- ・内 容 被害児等に対し、侵襲的でなく、また裁判で証拠としても使用できるよう事実を不足なく聞き取り、誘導となるような聞き方をしない専門的面接者を養成する研修を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市内、神奈川県内等
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 司法面接の面接者、バックスタッフなど司法面接に従事する人
- ・支出見込額 2,655,000円

(イ) ピアレビュー研修

- ・内 容 司法面接の面接者としての面接スキル向上を目指し研修を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市内、神奈川県内等
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 司法面接の研鑽を積みたい人
- ・支出見込額 668,500円

(ウ) 教職員向け「子どもの話を聞く」研修

- ・内 容 子どもからの被害開示を受けやすい教職員向けに、子どもが話し始めた時の対応や、誘導となるような聞き方をしないなどの、専門的知識を身につけてもらうことを目的とした研修を行う。
- ・日 時 8月
- ・場 所 横浜市内、神奈川県内等

- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 教職員や子どもと関わる仕事に従事する人
- ・支出見込額 237,500円

イ 子どもの話を聞く専門家及び司法面接や子どもの権利擁護センター（CAC）普及促進に関する人材育成（日本財団（通常助成））

- ・内 容 日本の法制度に基づいた司法面接構造・ガイドライン・プロトコルに基づき、日本の社会的バックグラウンドや子どもの発達段階に応じた「子どもの話をきく専門家」や、司法面接やCACの普及促進に必要な人材の育成を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県内、米国等
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 司法面接の面接者、バックスタッフなどの従事する人
- ・支出見込額 14,590,000円

ウ 児童相談所等での被害事実確認面接の実施及び職員への助言指導・研修事業

- ・内 容 児童相談所で実施される被害事実確認面接への面接者、バックスタッフの派遣や児童相談所職員への助言指導や面接実施に関する研修や勉強会等を実施する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 児童相談所、つなぐ事務所
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 児童相談所
- ・支出見込額 237,500円

エ 子どもを支えるボランティアの養成事業（日本財団（預保納付金支援事業））

- ・内 容 子どもをサポートするボランティアを養成する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市青少年育成センター
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 つなぐでボランティアを行いたいと思っている人
- ・支出見込額 282,000円

④ 虐待・性暴力、暴力等の発見、介入、予防に関する普及啓発事業

ア 子どもの権利擁護シンポジウム 2023

- ・内 容 これまでのつなぐの実務と研究について報告し、「子どものためのワンストップセンターと子どもの権利擁護（アドボカシー）」を考えるためのシンポジウムを行う。
- ・日 時 9月
- ・場 所 東京都及びオンライン
- ・従事者人員 15人
- ・受益対象者 子どもの権利擁護に関する人
- ・支出見込額 1,335,000円

イ 講演会、出張講座等の開催事業

- ・内 容 この法人の目的や意義、活動内容、被害者・被害児に必要な支援に関する現状について、広く一般市民に知ってもらい、活動に協力してもらうための広報、啓発講演会、講座を実施する。

- ・日 時 10月
- ・場 所 神奈川県内及びオンライン
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出見込額 184,500円

ウ 講演会、講座等の講師派遣事業

- ・内 容 地方自治体や機関、支援団体等が実施する虐待、性虐待、暴力等の発見、介入、予防に関する講演会や研修等において、この法人の目的や意義、活動内容、被害児等に必要な支援に関する現状について知ってもらい、活動に協力してもらうための講師派遣を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 全国
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 虐待等の被害を受けた子どもの支援に関する人
- ・支出見込額 363,000円

ウ 学会・イベント等への参加派遣事業

- ・内 容 日本子ども虐待防止学会、日本子ども虐待医学会や子ども虐待防止の啓発やSDGs関連イベント等に出展し、つながぐの活動を伝え、子どものためのワンストップセンターの必要性を啓発することを目的としイベント等に参加する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 全国
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 虐待等の被害を受けた子どもの支援に関する人
- ・支出見込額 390,000円

エ つながぐが支援する子どもたちと同世代の子どもたちとの取り組み事業

- ・内 容 つながぐが支援している子どもたちと同世代の子どもたちと一緒に、SDGsの取り組みの一環として、虐待や暴力、いじめなどを学び、共に活動を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 首都圏
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出見込額 725,000円

⑤ 被害児等の負担軽減や証拠収集に関する研究事業

ア 新司法面接プロジェクト

- ・内 容 日本の法体系に沿った司法面接制度を作り、虐待や暴力等を受けた子どもたちが権利擁護されるために、面接に関わる人たちが使いやすく、中立性があり、子どもに負担の少ないプロトコルづくりを目指し、警察、検察、児童相談所など行政機関と協議をしながら、司法面接構造/ガイドライン/プロトコルを構築し、実装を目指す
- ・時 期 通年
- ・場 所 つながぐ事務所等
- ・従 事 者 7人
- ・受益対象者 面接者、被面接者、面接に関わる人
- ・支出見込額 3,415,000円

イ 診断・聞き取り手法改善のための研究事業

- ・内 容 実施した系統的全身診察や面接官による診察や聞き取りが、適切かつ十分なものであったか、被害児・被害者への負担がどれほどであったか、どのような方法がより負担が少なく、かつ十分な診察・聞き取りとなるのか等、同意を得た当事者からの情報を元に研究を行い、診察や聞き取り手法の改善につなげていく。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所等
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 医療従事者、面接者、面接に関わる人
- ・支出見込額 80,000円

ウ 「付添犬」の運用のための研究事業

- ・内 容 動物介在療法研究者、獣医、小児科医、児童精神科医、弁護士でチームを作り、日本において、「付添犬」制度の構築、育成、活動について研究する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所等
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 付添犬を活用して子ども支援に関わる人
- ・支出見込額 230,500円

⑥ 前各号の事業に関する広報活動・調査研究、政策提言及び連携促進に係る事業

ア 性被害を受けた子どもの実態に関する調査研究事業（赤い羽根福祉基金事業）

- ・内 容 性被害を受けた子どもに対する対応について、実態を調査研究し、必要に応じて研究結果を発表、進言等に活用する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所等
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 虐待等の被害を受けた子どもの支援に関する人
- ・支出見込額 4,700,000円

イ 多機関多職種連携促進及び知識や情報更新のための研修事業

(ア) 多機関多職種連携勉強会

- ・内 容 各機関や団体がそれぞれ行っている支援や手続きの概要、目的、専門用語とその意味等をそれぞれが理解し、現状で不具合が生じている部分に関しての改善策や調整等を検討していく勉強会・研修会を開催。
- ・日 時 1回
- ・場 所 神奈川県立こども医療センター、つなぐ事務所、公民館等
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 虐待等の被害を受けた子どもの支援に関する人
- ・支出見込額 55,000円

(イ) 神奈川県児童虐待防止医療ネットワーク（KMN）事業

- ・内 容 県域の中核病院における子ども虐待対応院内組織（CPT）の運用や事例対応の標準化を検討し、CPTの運営や改善状況などを共有するとと

もに、症例検討を行いながら、児童相談所との連携に加え、警察や区役所など他機関連携の課題等に取り組む。

- ・日 時 3 回
- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 虐待等の被害を受けた子どもの支援に関する人
- ・支出見込額 35,000 円

(ウ) 子どもの権利擁護センター病院連携協議会 (HACAC) 事業

- ・内 容 医療機関等で行われている CAC 設立と運営を目的とした活動を相互に情報共有し、病院を拠点としたCACの取り組みが着実に進み、多機関多職種で子どもをワンストップサポートできる体制構築を目指す。
- ・日 時 通年
- ・場 所 オンライン開催
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 虐待等の被害を受けた子どもの支援に関する人
- ・支出見込額 55,000 円

ウ 広報事業

(ア) HP・SNS 改修・運用

- ・内 容 この法人の目的や意義、活動内容、被害児等に必要な支援に関する現状について、広く紹介し、この法人の最新の活動状況等を更新し知らせるために、ホームページ、SNS 等を改修・運用する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出見込額 965,000 円

(イ) パンフレット、ニュースレターの作成

- ・内 容 この法人の目的や意義、活動内容、被害者・被害児に必要な支援に関する現状について、広く紹介し、この法人の最新の活動状況等を更新し知らせるためにチラシ、パンフレット、ニュースレターの作成、配布を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出見込額 155,700 円

(ウ) つなぐ活動説明会・ボランティア説明会

- ・内 容 つなぐの事業運営や子どもに伴走するボランティアの確保のため、つなぐ活動説明会、ボランティア説明会を実施する。また、ボランティアどうしの連携を深めるため、交流会を実施する。
- ・日 時 説明会 年 2 回 交流会 年 4 回
- ・場 所 神奈川県 オンライン
- ・従事者人員 3 名
- ・受益対象者 つなぐの活動を知りたい人、ボランティアを希望する人
- ・支払見込額 30,000 円

(エ) ファンドレイジング

- ・内 容 つなぐの中長期的な運営を考え、企業との連携や助成金の応募、クラウドファンディングなどを実施し、財源確保のための活動を実施する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 オンライン
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 つなぐのサービスを利用する人
- ・支払見込額 665,000円

エ 政策提言

- ・内 容 つなぐの事業を行っていく中で明らかになった、現状の制度では子ども・若者の権利擁護が難しい現状について、政策提言の活動を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 首都圏
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出見込額 81,500円

(2) その他の事業
特になし